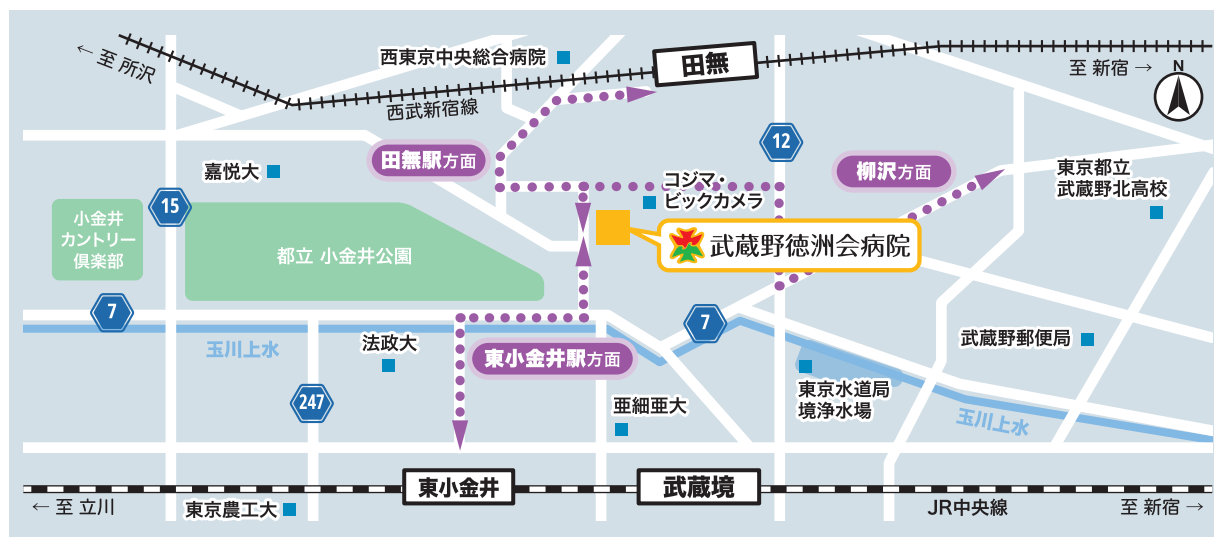


ACCESS | 武蔵野徳洲会病院へのアクセス



車の場合

五日市街道「ロイヤルホスト桜堤店」を北進青梅街道「都立田無高・小金井公園北東角」を目標におこください

バスをご利用の場合

JR中央線・武蔵境駅北口

関東バス【のりば5】武蔵境駅（北口）より
ヴィーガーデン西東京行き乗車約10分 武蔵野徳洲会病院下車

西武新宿線・田無駅南口

コミュニティバス（はなバス／第3ルート）西東京市役所田無庁舎前より
向台循環行き乗車約10分 おおぞら公園西武蔵野徳洲会病院前下車

無料シャトルバス の運行を行っております。

停留場所や運行時刻に関する詳細は、
お問い合わせいただくかホームページをご覧ください。

田無駅南口 方面

ルート：ローソン西東京南町五丁目店 ◀▶ 病院

東小金井駅北口 方面

ルート：東小金井駅北口 ◀▶ 病院

柳沢 方面

ルート：柳沢地区 ◀▶ 病院

出張講演依頼 受付中



当院では自治会・老人会・婦人会・学校・保育園・PTA 各種団体・企業・教育機関などからの
医療に関する出張医療講演を行っています。病気の予防や健康増進にどうぞご利用ください。

救急は**365日24時間**対応しております。



医療法人 徳洲会

武蔵野徳洲会病院

MUSASHINO TOKUSHUKAI HOSPITAL

〒188-0013 東京都西東京市向台町3-5-48

代表 TEL.042-465-0700

健診ドック TEL.042-465-0769

患者さん以外 TEL.042-465-0792

地域連携室 TEL.042-465-0781



HOME PAGE



INSTAGRAM



INSTAGRAM
看護部



LETTER 2026
No.27
TAKE FREE

身体にやさしく、心に寄り添う医療を。

田中良太

VOICE ——— 桶川隆嗣院長・田中良太副院長の対談

当院呼吸器・内視鏡センターの立ち上げにあたって

NEWS ——— 呼吸器・内視鏡センター開設

FEATURE ——— 新・肺ドックのお知らせ

TOPICS ——— 御礼むさとくフェスティバル

「 当院呼吸器・内視鏡センターの立ち上げにあたって 」

桶川 武蔵野徳洲会病院院長の桶川です。2026年4月、当院に呼吸器・内視鏡センターを開設いたしました。立ち上げの中心となりました副院長（呼吸器外科部長）の田中良太先生より、その構想や今後の展望についてお話を伺います。

田中先生は当院入職前、杏林大学 呼吸器外科等でご活躍でした。まずは、これまでのご経験からお聞かせいただけますか。

これまで肺がんをはじめ、呼吸器外科の診療に携わってきました。

大学病院では、胸腔鏡手術やロボット手術など、より専門性の高い手術にも取り組んできました。4月から武蔵野徳洲会病院にまいりましたが、これまで培ってきた経験を生かしながら地域の皆さんにより良い治療を提供していきたいと思います。

専門的な治療が必要な時はもちろん、呼吸器のことで気になることがあれば気軽に相談していただけるような、地域に根ざした診療を目指していきたいです。

桶川 次に、呼吸器・内視鏡センターについて、その特徴と、何を考えてこのチームを立ち上げたか、コンセプトや診療体制構築のご苦労などお聞かせ下さい。

病院に来る患者さんは、少なからず不安を抱えていらっしゃると思います。ですから、まずは患者さんのお話をしっかり聞き、何に困っているのか、何を不安に感じているのかを理解すること、また、必要な検査や治療があればできるだけ早く対応することを、大切にしています。

私は肺がんを専門にしていますが、呼吸器の病気は肺がんだけではなく。肺炎や膿胸などの炎症性疾患、気胸などの嚢胞性肺疾患についても、それぞれを専門とする先生方に加わっていただき、幅広い呼吸器疾患に対応できるチーム作りを心がけました。

私たちのコンセプトは「身体にやさしく、心に寄り添う医療」です。胸腔鏡手術やロボット手術など内視鏡を取り入れた、できるだけ体への負担が少ない治療を心がけるとともに、患者さんの不安や疑問にも丁寧に向き合い、一人ひとりの病状や希望に合わせてどのような治療がよいかを一緒に考えながら、地域の皆さんに安心していただける呼吸器診療を提供していきたいと思います。

まだまだこれから充実させていきたい部分もありますが、スタッフみんなで力を合わせ、患者さんに「ここに来てよかった」と思っていたけようなチーム作りを目指します。

武蔵野徳洲会病院 院長 桶川 隆嗣

1991年杏林大学卒業。1998年同大学大学院医学研究科修了。
同大学医学部泌尿器科教授を経て、2021年4月より現職。
杏林大学医学部泌尿器科学客員教授。
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医。
専門分野は泌尿器腫瘍学、ロボット・腹腔鏡手術、泌尿器一般。

田中

田中

田中

田中

田中

田中

桶川 ありがとうございます。地域医療にどう貢献していくか、将来展望など、更にお話し頂けますでしょうか。

呼吸器の病気には、薬などで治療する内科的な治療が適している場合もあれば、手術が必要になる場合もあります。そのため、呼吸器を専門とする内科医と外科医が力を合わせて診療することが、とても大切だと考えています。

当院では、内科と外科の医師がそれぞれの専門性を生かしながら、日頃から連携して診療にあたっています。

桶川 シームレス、ボーダーレスな治療ということですね。

これからの医療は、病気を治すことだけがゴールではないと思っています。若い方には、病気をしっかり治して、できるだけ早く普段の生活や仕事に戻っていただきたいですし、ご高齢の方には、いつまでもその人らしく、笑顔で毎日を過ごしていただけるようお手伝いしたいと考えます。治療を終えた患者さんが、できるだけ早く、その人らしい生活に戻ることができるよう支えていくことも、病院の重要な役割だと思います。

桶川 最後に、副院長として考える「これからの武蔵野徳洲会病院」について、お考えをお聞かせください。

「何か困ったことがあったら、まずは“むさどく”に相談してみよう」地域の皆さんに、そう思っていたける病院を目指していきたいですね。

安心して頼っていただける病院であるためには、各診療科が専門性を高めることはもちろん、医師、看護師、コメディカルをはじめ、病院で働くすべてのスタッフが力を合わせ、一つのチームとして患者さんを支えていくことが大切だと考えます。

そして、私がもう一つ大切にしたいのが「教育」です。

私は大学で医学教育学にも携わっていますが、医療の質を高めるためには、そこで働く人が学び、成長できる環境をつくるのが欠かせない。若い医師や研修医だけでなく、看護師やコメディカルを含め、互いに学び合い、成長できる「人が育つ病院」を目指したいと思います。

呼吸器診療の充実に加え、桶川院長のもと副院長として、病院全体の医療の質を高め、スタッフが生き生きと誇りを持って働ける環境づくりにも力を尽くしたいと思います。

患者さんに選ばれ、地域に信頼され、スタッフにとっても「ここで働いてよかった」と思える病院へ。そして、人が成長し、その成長が次の世代へ受け継がれていく—そんな「人と医療がともに成長する病院」を、皆さんと一緒につくっていききたいと思います。

桶川 頼もしい限りです。よろしく願いいたします。本日は、ありがとうございました。

2026年9月14日

武蔵野徳洲会病院 副院長 田中 良太

杏林大学卒業。医学博士。
日本外科学会 専門医・指導医 / 日本胸部外科学会 認定医 /
呼吸器外科専門医 / 胸腔鏡安全技術認定医 /
日本臨床細胞学会 細胞診専門医・教育研修指導医 /
気管支鏡専門医・指導医 / がん治療認定医・指導責任者

呼吸器・内視鏡センターが開設！

当センターでは、呼吸器内科と呼吸器外科が協力し、
診断から治療まで一貫して対応できる体制を整えております。

副院長 呼吸器・内視鏡センター センター長 田中 良太

患者さまお一人おひとりの状態に合わせ、できる限りわかりやすい説明と、安心して
受けていただける医療を心がけてまいります。

気になる症状がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。地域の皆さまに信頼
していただける医療を提供できるよう努めてまいります。



呼吸器・内視鏡センターでは、呼吸器、胸壁や縦隔など
胸部全般の疾患に対して、最新の医療機器を備え、
内科および外科の担当医師が密に連携し対応いたします。

主に下記の疾患に対する診断および治療を行っております。

- ① 腫瘍 … 肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、胸壁腫瘍
- ② のう胞性疾患 … 気胸、巨大肺嚢胞
- ③ 感染・炎症 … 肺炎関連、膿胸、降下性縦隔炎
- ④ 外傷 … 肋骨骨折、血気胸、肺挫傷
- ⑤ 奇形 … 肺動静脈瘻、CPAM(先天性肺気道奇形)、肺分画症
- ⑥ 気道疾患 … 気道狭窄、異物

上記の疾患に対する診断・治療において、患者さんの痛みや苦痛が最小限になる
ように心がけています。

気胸・膿胸治療24時間センター併設

気胸・膿胸に関する診断・治療を積極的に行っています。
呼吸器内科・外科の専門チームが対応いたします。

医師紹介

副院長/ 田中 良太 [杏林大学卒]

専門 肺がん外科治療、胸腔鏡手術、細胞診断

医長/ 下田 清美 [滋賀医科大学卒]

専門 呼吸器外科、難治性気胸・膿胸、CVポート増設



部長/ 青島 宏枝 [浜松医科大学卒]

専門 肺がん、気胸、縦隔腫瘍、膿胸、肺気腫

中本 真理 [聖マリアンナ医科大学卒]

専門 呼吸器内科、アレルギー

外来担当表

☀	午前	受付 8:30～12:00
☀	午後	受付 13:30～16:00

月	火	水	木	金	土
○	○	○	○		
○	○		○	○	

※日曜・祝日は休診です。都合により変更や休診になる場合がございますのでご了承ください。

「いつもの病院」で、 みらいの健康も。

顔なじみの先生とつなぐ安心健診と、
新・肺ドックのお知らせ



「いつも通っているから、健診はどこで受けても同じ」—— そう思っていないですか？

実は、あなたの体のことを一番よく知っている当院で健診を受けることこそが、これからの安心への一番の近道です。診察室へ向かう途中で見かけるあの「健診センター」には、いつもの病院だからこそお届けできる、特別なメリットが詰まっています。

1 万が一のときも安心！ 外来との「スムーズな連携」

当院の健診最大のメリットは、検査データがそのまま外来の診療科へしっかりと共有されることです。もし健診で気になる見つかりものがあったとしても、カルテの準備や二重の検査の手間がなく、いつもの先生や専門の医師へスピーディーに相談・受診ができます。あなたの健康の歩みを、ひとつの病院で一貫して守ります。

検査時間は
数分で終了します

2 今年度スタート！「クイック肺CTドック」



今年度より当院に「呼吸器センター」が開設されたことに伴い、最新のAI搭載CT装置を使った「クイック肺CTドック」が新登場しました。

当院のCT検査は、従来の約5分の1という「低線量」での撮影が可能です。放射線によるお体への負担（被ばく）を最小限に抑えながら、通常のレントゲン検査よりもはるかに細かく肺の健康状態をチェックできます。「最近、少し息切れが気になるな」「タバコを長く吸ってきたな」という方は、ぜひ安心・手軽な新ドックをお試しください。

健康管理センター

[13時～ 16時30分]

お問合せ

042-465-0769

https://www.musatoku.com/medical_checkup/



【御礼】むさとくフェスティバルのご来場ありがとうございました。



むさとくフェスティバルにご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。
地域の皆さまと笑顔あふれる時間を共有できたことを大変嬉しく思います。
これからも安心して頼れる病院を目指し、職員一同努めてまいります。

院長 桶川隆嗣

徳洲会体操クラブから岡選手と新宅コーチをお迎えし、トークショー＆ハイタッチ会を開催しました。オリンピックや日本代表選考会でのエピソード、競技生活を支える日々の努力や挑戦について語っていただき、会場は大いに盛り上がりました。終了後のハイタッチ会では、多くの来場者が直接触れ合う貴重な機会となり、温かい交流の場となりました。



院内広場の各コーナーも大盛況でした！

健康や医療について楽しく学べる体験コーナーや、お子様向けのワークショップ、体力測定など、さまざまな企画に多くの来場者が参加されました。会場内は終日笑顔と活気にあふれ、子どもから大人まで世代を超えて楽しみながら交流できる、にぎやかなひとときとなりました。



野外ひろばのキッチンカー・飲食ブースや消防車両の体験コーナーなども大盛況！

バラエティ豊かなキッチンカーや飲食ブースが並び、会場はおいしい香りと多くの来場者でにぎわいました。昼食やスイーツを楽しむご家族連れや友人同士の姿が多く見られ、長い行列ができる店舗もあるなど、イベントの楽しみの一つとして大変好評をいただきました。食を通じて、会場全体が笑顔と活気にあふれるひとときとなりました。